

FavorPrep™ Plant Total RNA Mini Kit

Cat: FAPRK 000-Mini(4 回分) / FAPRK 001(50 回分) / FAPRK 001-1(100 回分) / FAPRK 001-2(300 回分)

本製品は研究用です

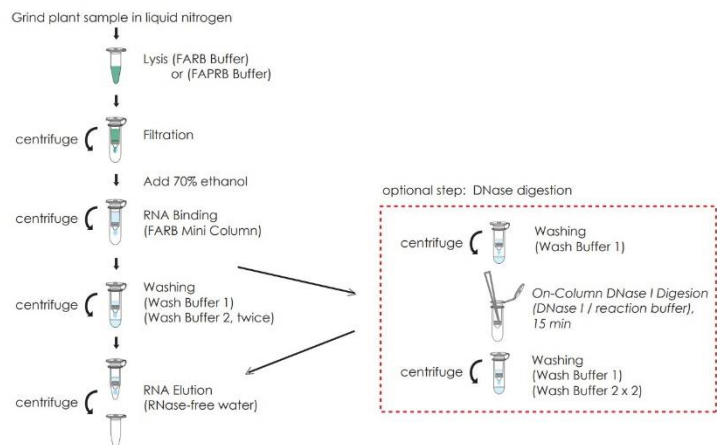
v 221103

📦 キットの内容

	FAPRK 000-Mini (4 preps_sample)	FAPRK 001 (50 preps)	FAPRK 001-1 (100 preps)	FAPRK 001-2 (300 preps)
FARB Buffer	3 ml	30 ml	60 ml	170 ml
FAPRB Buffer	3 ml	30 ml	60 ml	170 ml
Wash Buffer 1	3 ml	30 ml	60 ml	170 ml
Wash Buffer 2 (concentrated)*	1.5 ml	20 ml	35 ml	50 ml × 2
RNase-free Water	0.5 ml	6 ml	6 ml	8 ml × 2
Filter Column	4 pcs	50 pcs	100 pcs	300 pcs
FARB Mini Column	4 pcs	50 pcs	100 pcs	300 pcs
Collection Tube	8 pcs	100 pcs	200 pcs	600 pcs
Elution Tube	4 pcs	50 pcs	100 pcs	300 pcs
*添加する 96-100%エタノール量				
Wash Buffer 2 (concentrated)	6 ml	80 ml	140 ml	200 ml

📋 基本情報

構成	シリカメンブレン法 (ミニスピナラム)
操作時間	30~60 分
サンプル量	植物組織: ≤100 mg 植物細胞: ≤1 x10 ⁷ cells
結合量	最大 100 μg RNA/column
収量	100 mg 若葉: 5~30 μg
最小溶出量	30 μl
操作方法	遠心法 もしくは 吸引法



重要事項

1. 操作に関連するものは、RNase-free であることを確認してください。
2. 作業はゴム手袋、白衣を着用して行ってください。
3. FARB Buffer と FAPRB Buffer は使用前に RNase フリーのチューブに取り、 β -メルカプトエタノールを加えてください。(1 ml の FARB Buffer 又は FAPRB Buffer に対して 10 μ l)
警告: β -メルカプトエタノールは人体に有害です。操作時はドラフトチャンバーを使用してください。
4. Wash Buffer 2 は開封時に RNase-free エタノール(96-100%)を加えてください。
5. 遠心分離は、最大速度 ($\sim 18,000 \times g$) で行ってください。
6. オプションの操作を行う場合は、RNase-free DNase I solution (1M NaCl, 10mM MnCl₂, 20mM Tris-HCl, pH 7.0 at 25°C)を準備し、最終的な DNase I の濃度が 0.5 U/ μ l に調整してください。

操作 ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。

1. 100 mg の植物サンプルを液体窒素下で粉末化し、新しいチューブ(お客さまでご用意ください)に移します。
メモ: 収量が減少する為、100mg 以上の植物サンプルを使用しないでください。
2. 500 μ l の FARB Buffer (β -ME 添加)を加え、ボルテックスでよく混和後、室温で5分間インキュベートします。粘性の高い二次代謝産物を含むサンプル(トウモロコシの胚乳や糸状真菌の菌糸体)の場合は FAPRB Buffer (β -ME 添加)を使用してください。
メモ: サンプル中の全ての RNA を遊離するために、サンプルに合わせて適切なディスラプター装置を用いて試料を完全に破壊してください。
3. Filter Column を Collection Tube へ取り付け、サンプル溶液を Filter Column へ移します。最大速度 ($\sim 18,000 \times g$) で1分間遠心分離します。
4. 上清を新しいチューブ(お客様でご用意ください)に移します。次のステップで同量のエタノールを加えるため、サンプル量を調整してください。
メモ: ペレットを混入させないようにしてください。
5. サンプルと同量の 70%エタノール (RNase-free) を加え、ボルテックスで混和します。
6. FARB Mini Column を Collection Tube へ取り付け、エタノールを加えたサンプル(沈殿物を含む)を FARB Mini Column へ加えます。最大速度 ($\sim 18,000 \times g$) で1分間遠心分離し、ろ液を捨て FARB Mini Column は Collection Tube へ戻します。
7. サンプルを全て処理するまでステップ 6 を繰り返します。

8. <オプション>ゲノム DNA を除去する場合
 - A) 250 μ l の Wash Buffer 1 を FARB Mini Column へ加えます。最大速度 ($\sim 18,000 \times g$) で 1 分間遠心分離し、ろ液を捨て FARB Mini Column は Collection Tube へ戻します。
 - B) 60 μ l の RNase-free DNase I solution (0.5 U/ μ l, お客様で調整してください) を FARB Mini Column の膜中央へ加え、15 分間静置します。
 - C) 250 μ l の Wash Buffer 1 を FARB Mini Column へ加えます。最大速度 ($\sim 18,000 \times g$) で 1 分間遠心分離し、ろ液を捨て FARB Mini Column は Collection Tube に戻します。
 - D) ステップ 10 へ進みます。
9. 500 μ l の Wash buffer 1 を FARB Mini Column へ加えます。最大速度 ($\sim 18,000 \times g$) で 1 分間遠心分離し、ろ液を捨て FARB Mini Column は Collection Tube へ戻します。
10. 750 μ l の Wash buffer 2 を FARB Mini Column へ加えます。最大速度 ($\sim 18,000 \times g$) で 1 分間遠心分離し、ろ液を捨て FARB Mini Column は Collection Tube へ戻します。
メモ: Wash Buffer 2 にエタノールが添加されていることを確認してください。
11. ステップ 10 を繰り返し、もう一度洗浄してください。
12. さらに最大速度 ($\sim 18,000 \times g$) で 3 分間遠心分離し、FARB Mini Column を乾燥させます。
重要ステップ! : この操作は酵素処理を阻害する物質を取り除くために重要です。
13. FARB Mini Column を Elution Tube (キットに付属) へ取り付けます。
14. 30 \sim 50 μ l の RNase-free ddH₂O を FARB Mini Column の膜中央に加え、1 分間静置します。
重要ステップ! : 効率よく溶出させるため、RNase-free ddH₂O を完全に吸着させてください。
* 30 μ l より少量で溶出した場合、収量が低下する恐れがあります。
15. 最大速度 ($\sim 18,000 \times g$) で 1 分間遠心分離し、RNA を溶出します。
16. 溶出した RNA は -70°C で保管します。